

# 習得した知識を活用する学習活動! 3つの活用

3つの活用パターン

● 学んだことを

**あてはめよう**

学んだことを、いろいろな場面にあてはめて考えます。

思考

● 学んだことをもとに

**見つけよう**

学んだことをもとに、これからどうしたいかなどを見つめます。

判断

● 学んだことをもとに

**つたえよう**

学んだことをもとに、ほかの人にアドバイスなどをします。

表現

習得した知識などを“活用”して課題解決するための学習活動を思考・判断・表現に合わせて3パターン設定しています。

習得した知識を活用する学習の例

## 5年 p14 「けがの起こり方ーけがの原因を考えよう」

### けがの原因を考えよう



事故やけがの原因

事故やけがの多くは、人の行動とまわりの環境が原因で起こっています。また、人の行動は、そのときの心や体の状態とも関係しています。



人の行動 (ろうかを走るなど)		まわりの環境
心の状態	体の状態	ろうかがぬれていた。相手が見えなかった。整理・整頓がされていなかった。など
あわてていた。ふざけていた。など	つかれていた。ねぶそくだった。など	

### 1 基礎的な知識の習得

事故やけがの原因をよく読んで理解します。

### 2 習得した知識を活用

習得した事故やけがの原因を、他の具体的な状況にあてはめて考えます。

児童の  
“実践的な理解”  
を促します。

● 学んだことを  
**あてはめよう**

① つぎの場面の危険を予測して、けがの原因を書いてみましょう。



「人の行動」と、そのときの「心や体の状態」、そして「まわりの環境」の3つね。

人の行動

心や体の状態

まわりの環境

② つぎの場面についても、同じように考えてみましょう。



習得した知識を  
活用する学習の例

## 6年 p35 ~ 37 「病原体と病気の予防」

### 1 基礎的な知識の習得

最初に感染症の予防の基本を理解します。

### 2 習得した知識を活用

感染症の予防のしかたを、インフルエンザと食中毒にあてはめて考えます。

**予防のしかた**

感染症の予防のしかた

- 病気の原因となる病原体を体の中に入れないようにする。
- 体のていこう力を強くしておく（病原体が体の中に入っても病気にかかりにくくなる）。

病原体を体の中に入れない	体のていこう力を強くしておく
<p>発生するもとをなくす</p> <p>うつる道すじをたち切る</p> <p>熱湯消毒</p> <p>日光消毒</p> <p>薬品消毒</p>	<p>十分な栄養</p> <p>適切な運動</p> <p>十分な休養・すいみん</p> <p>予防接種</p>

**さまざまな感染症**

空気中からうつる病気

インフルエンザ

食べ物や手などからうつる病気

食中毒

ノロウイルス

## いろいろな活用例

3年 p6 [けんこうって、なに?]

けんこうでいると、どんなことができるでしょうか。あなたがこれからしてみたいことを書いてみましょう。

4年 p25 [体の中の変化]

思春期に起こる体の変化のことで、だいき君とはるなさんは、不安になっています。不安がなくなるようにアドバイスをしてあげましょう。



精通が起こるのか、なんだか心配…。

初経があった友だちがいるけど、わたしはまだなの…。



5年 p5 [心の発達]

3人だことをもとに  
つたえよう

どうしても読みたい本が友だちと同じだったら、あなたは友だちにどう声をかけますか？

4~5才のころ 以前はどうだったかな？

ぼくが先だよ！



5年生のころ 今ならどうする？



調べ学習で、どうしても必要なんだけど…。